

事業所およびその周辺の環境を保全するため、あらゆる努力を惜しみません。

事業所およびその周辺の環境負荷を低減するため、製造活動が水質や大気に与える影響、騒音・振動などをきめ細かくチェックし、改善活動をすべての拠点で推進しています。製造活動と地域の環境の調和をめざし、今後もあらゆる努力を続けていきます。

水と大気の実績値

2002年度データ

水の使用量(Input)

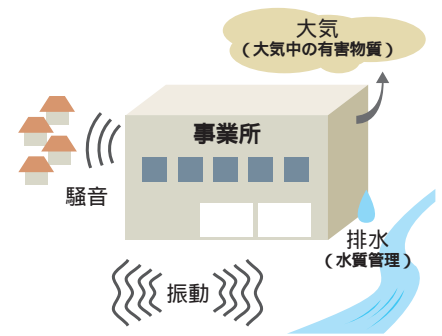
	上水使用量	工業用水使用量	地下水使用量	循環水使用量	水の使用量
富士通	5,998,759	6,659,122	597,763	2,760,301	13,255,644
国内製造	5,698,958	1,915,464	4,491,165	6,840,751	12,105,587
海外製造	737,881	1,655,346	304,714	1,374,562	2,697,941
富士通グループ合計	12,435,598	10,229,932	5,393,642	10,975,614	28,059,172

排出量(Output)

	総排水量	BOD	SS
富士通	17,110,236	66	93
国内製造	7,443,737	57	32
海外製造	1,440,533	37	44
富士通グループ合計	25,994,506	160	169

大気の排出量

	窒素酸化物(トン)	硫黄酸化物(トン)
富士通	215	143
国内製造	417	212
海外製造	1,308	128
富士通グループ合計	1,940	483



富士通における各工場の水質・大気・騒音に関する実績については、下記のホームページをご覧ください。

eco.fujitsu.com/info/report/2003/

独自の管理基準値の設定(国内)

法規制の基準より厳しい管理基準値を独自に設定し、環境保全に努めています。

大気 岩手工場

製造活動に伴う大気汚染を防ぐため、事業場内を測定管理し、大気中への排出または飛散防止の状況を大気環境の保全業務として把握しています。

大気項目	値	国基準	県基準	管理基準
窒素酸化物	ppm	150	120	100
硫黄酸化物	k値	17.5	14.5	10
ばいじん	g/Nm ³	0.25	0.2	0.1

騒音・振動 南多摩工場

製造活動から発生する振動・騒音は、適用範囲は広く、地域住民の皆さまからのクレームが発生しやすいと考えられます。発生する値を把握し、できる限りの低減に努めています。

騒音項目	国基準	都基準	管理基準
昼間	60 ~ 65	60	55
朝・夕	55 ~ 65	55	50
夜間	50 ~ 55	50	45
振動項目	国基準	都基準	管理基準
昼間	65 ~ 70	65	45
夜間	60 ~ 65	60	45

水質(排水) 会津若松工場

水域において、河川および各拠点の下水道への負荷を低減する努力を続けています。

大気項目	値	国基準	県基準	自主基準
水素イオン濃度	pH	5.8 ~ 8.6	5.8 ~ 8.6	6.0 ~ 8.0
生物学的酸素要求量	BOD	160(120)mg/l	25(20)mg/l	20(16)mg/l
化学的酸素要求量	COD	160(120)mg/l	—	20(16)mg/l
浮遊物質	SS	200(150)mg/l	70(50)mg/l	28(20)mg/l
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)		5mg/l	1.0mg/l	0.5mg/l
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物)		30mg/l	10mg/l	3mg/l
フェノール類	Phe	5mg/l	1.0mg/l	0.5mg/l
銅	Cu	3mg/l	2.0mg/l	0.1mg/l
亜鉛	Zn	5mg/l	4.0mg/l	0.5mg/l
溶解性鉄	S-Fe	10mg/l	10mg/l	1.0mg/l
溶解性マンガン	S-Mn	10mg/l	10mg/l	1.0mg/l
フッ素	F	8mg/l	8mg/l	7mg/l

事業場管理状況

監視オペレーションシステム

自然災害・設備の事故などの発生を最新システムで24時間監視し、環境保全に努めています。



あきる野テクノロジセンター管理室

緊急時訓練

緊急時に環境汚染などを引き起こす可能性のある作業や活動の場では、環境への影響を最低限に抑える緊急時想定訓練を各事業場で実施しています。



廃水処理場(富士通川崎工場)